



小さな会場でじっくり製品と向き合う

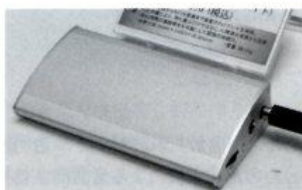
ポータブルアンプ研究会

2012年7月7日 中野サンプラザ(東京・中野区)

ヘッドフォンオーディオブースの牽引役として春秋2回開催されているフジヤエービック（東京・中野区）主催の「ヘッドフォン祭」は、回を追うごとに出演社も増え活況を呈しているが、規模が大きくなるにつれて試聴の時間が制限されたり、開催時間内に全ブースを回りきれないといった声も聞かれるようになった。

そうした要望に応えるため、同社はヘッドフォン祭を補う形で、テーマを絞った小規模な展示試聴イベントを年に数回開催している。

「ポータブルアンプ研究会(ボタ研)」と銘打たれた今回のイベントは、小型アンプをメインに、ヘッドフォン本体、カスタムイヤフォン、プレーヤー、周辺機器などが展示され、小さな会場でゆつくりお目当ての機器の試聴ができるように配慮されている。



ADL (フルテック) は USB DAC付きポータブルヘッドフォンアンプStrideを発表。アルミ合金+カーボンファイバー筐体だったCruiseをフルアルミ合金化して40g以上の軽量化を実現



新進ガレージメーカーANALOG SQUARED PAPERの真空管ポータブルアンプU-05b。信号経路に半導体を使用せず(電源部には半導体を使用)、電池管1U4と3S4を全段3極管接続で使用。電源は7.4Vリチウムイオン電池(連続使用最大7時間)で、ノイズを限りなく抑えたB電源50VとA電源1.41Vを作り出す独自開発のDDCを搭載している。受注生産で本体の基本価格は8万円。写真背後の本革製キャリングケースをはじめ、さまざまなオプションがある。



オヤイデ(小柳出電気商会)はリケーブル用ケーブルを中心に、ポータブル機器同士を貼り合わせる新製品ジェルシート「ポタびたシートストロング」(税込630円)を展示。ポータブル機器は太いゴムバンドでまとめられることが多いが、スマートフォンの場合、操作がしにくくなるので、操作面に影響のない接着シートが考案された。音質向上の効果もあるという。



オーラサウンドは192khz/24ビットD/Aコンバーターの新製品HiFace TWO-PRO(税込32,800円)とUSBバスパワー電源BusPower-Pro(税込10,500円)を組み合わせた試験システムを展示。電源にはエネルギーを使用

株式会社フジヤエービック
〒164-0001 東京都中野区中野5-52-1
ブロードウェイセンター3F
TEL03-3386-5956 FAX03-3386-6989
<http://fujiya-avic.co.jp>



会議場2部屋に余裕を持った展示なので、余裕をもって全商品がチェックできる

のがうれしい。来場者が自慢のシステムをメーカーの担当者に見せながらオーディオ談義をする姿は大きなイベントでは見られない光景で、オーディオイベントの原点を見たような思いがした。会場は2部屋で出展社は20社に満たないが、1社が複数のブランドを扱う場合も少なくないので、展示品はバリエーションに富んでいる。

このような小イベントの開催は、フジエービックのウェブサイトに適宜告知される。次回の「第10回ヘッドフォン祭」は10月27日にスタジアムプレイス青山(東京・港区)での開催が決定しており、前回同様本誌も試聴コーナーを設ける予定で、詳しくは本誌11月号の「オーディオ情報」欄で発表する。

(末永昭二)